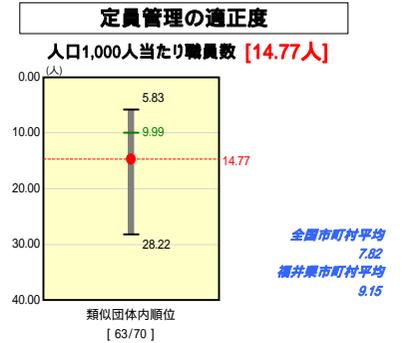
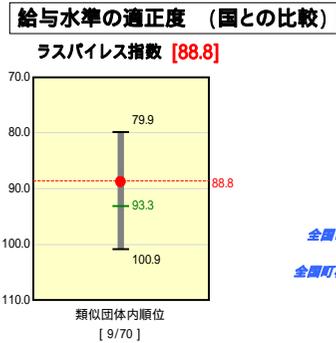
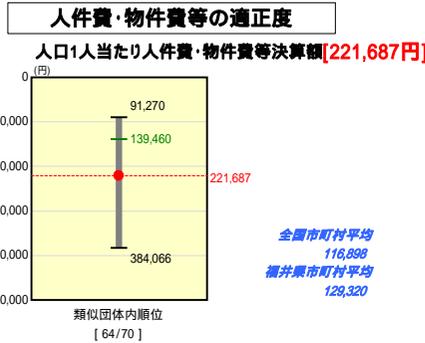
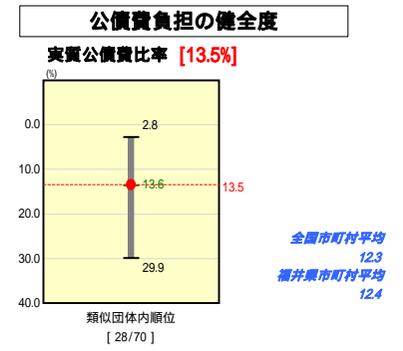
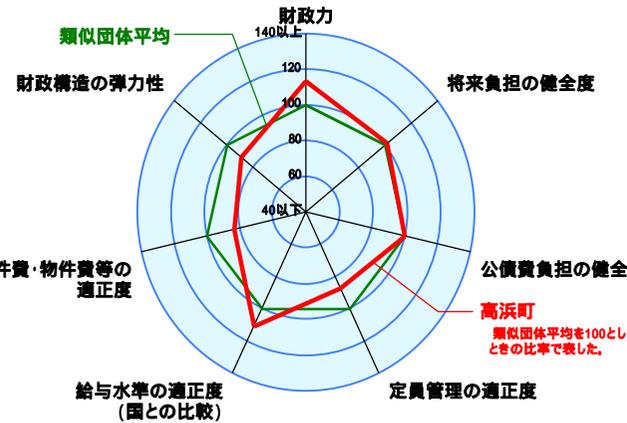
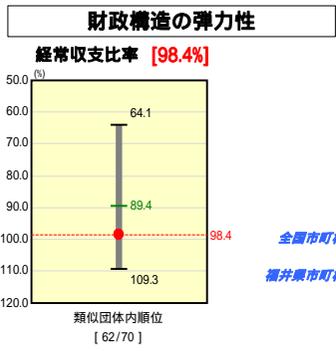
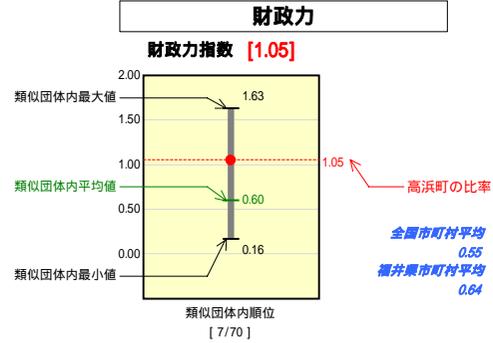


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 高浜町

人口	11,439	人(H20.3.31現在)
面積	72.10	km ²
歳入総額	7,124,114	千円
歳出総額	6,979,364	千円
実質収支	144,750	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づいたものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
大型事業所により類似団体平均を上回る税収があるため、1.05と健全数値を示しているが、税収の減少等により近年低下傾向にある。今後は、歳入確保に努めるとともに歳出の徹底的な見直しを実施する。

経常収支比率
類似団体平均を大きく上回り、前年度比10.9ポイント増となった。これは、町税等の減少に加え、下水道事業への繰出金に充てていた基金の取り崩しを抑制したため、負担すべき一般財源が増加したことによるものである。公債費の増加並びに繰出金の増加によりさらに悪化する要因はあるものの、経常経費の削減はもとより、定員適正化計画に基づく人件費の削減等、義務的経費も含めた歳出削減に努め、現在の水準の維持に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費と公共施設の維持管理費が要因となっている。これは保育所や各施設の運営を直営で行っているためである。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく。

人口1人当たりの地方債現在高
現在のところ類似団体並みであり、今後もプライマリーバランスの黒字化を図り、健全性を保っていく。

実質公債費比率
類似団体平均並みであるが、今後は公有水面埋立事業の償還が始まり数値の上昇は避けられないため、計画的な繰上償還を実施し、弾力的な財政運営を図っていく。

ラスパイレス指数
類似団体の中では低い水準にあり、今後も、勤務評価の導入等により給与の適正化を図る。

人口1,000人当たり職員数
類似団体平均を大幅に上回っており、今後、集中改革プランに定める目標(平成17年度からの5年間で10人削減)を達成するため、退職者の不補充や民間委託等の推進などを進める。